シリーズ 男女

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から25日までは、女性に対する暴力をなくす運動期間でした。この目的は、女性に対するあらゆる暴力［DV（配偶者などからの暴力）、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、セクシュアルハラスメントなど］の根絶を目指し、これらが重大な人権侵害であることを社会全体に周知するとともに、暴力を容認しない意識を広めることです。

また、この運動には、被害者が一人で悩みを抱え込まず、相談窓口や支援機関につながることを後押しする目的もあります。社会全体で被害者を支え、安心して相談できる環境づくりを進めることで、被害の深刻化を防ぎ、早期支援につなげることを目指しています。

毎年、この運動期間中には、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、全国で公共施設やランドマークを紫色に照らす「パープルライトアップ」が実施されています。これは、暴力根絶への意思を示すとともに、被害者へ「一人で悩まず相談してほしい」というメッセージを発信する取り組みです。朝倉市もこの運動の趣旨に賛同し、期間中、市役所本庁舎や甘木公園噴水のパープルライトアップやパープルリボンで飾りつけたツリーの展示などを行いました。こうした活動は、地域全体で女性に対する暴力の問題を身近な課題として考え、被害者支援への理解を深めるきっかけづくりとして取り組んでいます。

女性に対する暴力をなくすことは、女性だけでなく、すべての人が互いの人権を尊重し、安心して暮らせる社会づくりにつながります。朝倉市でも、被害者支援と暴力の未然防止の両面から、継続して取り組んでいきましょう。

問 市男女共同参画推進室（☎28-7595）



広報文芸

俳句（矢野俊一選）

うろたえず蟷螂（とうろう）のごと生きてみる　比良松　本園　康子
落葉掃く一葉一葉の錦かな　甘木　山下　藍
秋祭り一静寂の筑紫舞　牛鶴　長野　京子
友の訃に打ちひしがれし夜寒かな　美奈宜の杜　宇都　信泰
晩秋や落ちゆく日暮れの早きこと　三奈木　甲斐　征男
亡き妻の好きな栗飯今朝の膳　宮野　井上　隆信

川柳（お題「心」）（益永克之選）

ありがとう心にひびくその言葉　堤　篠原　明男
親なれば心穏やか家庭の和　一木　田中　妙子
巣立っても親の心はそのまま　菩提寺　北原　妙子
物価高負けない主婦の心意気　甘木　櫻木　浩子
紅葉狩り心も弾む秋日和　来春　伊藤　佳子
市の話題こころ待ちする広報紙　入地　丸林美智子

【広報文芸応募方法】はがきまたは封書に三句以内（一人一通限り）と住所・氏名・電話番号（連絡の取れる番号）を記載し、12月7日（月）までに直接選者に応募。応募作品は、未発表・自身の作品に限る。応募の際は、今一度ご確認ください。
応募は、俳句・川柳のいずれかひとつでお願いします。

■川柳次の題…「生」

【応募先】《俳句》矢野俊一さん（〒838-0068 朝倉市甘木1929-2）
《川柳》益永克之さん（〒838-0061 朝倉市菩提寺523-2）

今月の1枚　#あさくらいふ



【特選三句（矢野俊一選）】

環濠を　巡る一歩に　秋の雨　憲子
万葉の　秋色残す　散歩道　二三枝
傘に落つ　音ぞ楽しき　秋時雨　智慧

撮影日：令和8年9月27日　場所：平塚川添遺跡公園

秋の風景を句にのせて

平塚川添遺跡公園を歩きながら俳句を詠む吟行句会が開催されました。講師は、広報あさくら「広報文芸」のコーナーの選者でもおなじみ矢野俊一さん。

雨の中の開催でしたが、秋の趣を感じる句会となりました。

あなたの写真を掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力を再発見できる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

①Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真
②メール（jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp）で申込があった写真　など
※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申込ください。
※掲載する場合、ご連絡します。

▼申込はこちら

朝倉の魅力 見つかる、つながる

地域おこし協力隊通信その後

ふたたびまたたび猫おじさん



元・地域おこし協力隊
クロノ さん

皆さんこんにちは！覚えてますか？『元』地域おこし協力隊、クロノでございます。改めて数えてみると、協力隊を退任してもうすぐ丸1年になるんですね。ということは朝倉に来てもう4年になるのか！早すぎ！退任してからは自分の会社の事でほぼ手一杯でしたが、初めての決算を終えて今は結構のんびりしたペースで毎日を送っています。ナマオケバトルに出たり、消防団の操法大会に出たり、初めてサーキットを走ったり。そうそう、協力隊の時に取り組んでいた『高木食堂』は、今も継続しています。

最近、時間を見つけては出かけるようにしているんですが、朝倉って本当に近隣へのアクセスがいいし、ボクにとって『ちょうどいい街』です。協力隊の時はボクが出不精だという事も起因して、観光らしい観光はほぼしてなかったんですけどね。出歩くようになってからは、他のまちから甘木ICの坂道を降りると「ああ、帰ってきた」って安心するんです。決して大都市ではないから、全国チェーンの飲食店も娯楽施設も多くない。でも、交通量、まちの景観、住んでいる人たち、ボクにとってすべて『ちょうどいい』感じがするんです。これって住んでみないと分からない。移住したボクだからこそよく分かる朝倉の良さなのかもしれません。

これからも愛車と愛猫と一緒にこの『ちょうどいい街』で暮らしていきたいと思っておりますので、朝倉の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。

クロノさんの高木地区での活動は、YouTubeをチェック！





▲(上)現在も定期的に開催されている高木食堂(下)ナマオケバトルで高木地区代表として出場

獅子乱舞
秋の大祭 蜷城おくんち





10 月 21 日、美奈宜神社（林田）で無病息災と五穀豊穣を祈願する秋の大祭「蜷城おくんち」が行われました。

奉納された獅子舞は、蜷城地区に 500 年以上前から伝わる県指定無形民俗文化財。シュロから編んだ蓑をまとう 2 頭の獅子が、勇猛に境内を暴れまわり、息の合った獅子舞を見た参拝客からは、大きな拍手と歓声があがりました。

この日は獅子舞のほか、毛槍、太鼓、雅楽、舞姫なども披露。参道付近には出店も並び、訪れた人たちで大にぎわいでした。

朝倉市指定無形民俗文化財
第 42 回 甘木盆俄保存公演






10 月 25 日、ピーポート甘木で、第 42 回甘木盆俄の保存公演が開催されました。

今回の公演では元米沢市長の安部三十郎さんが歴史紙芝居「豊姫と秋月三名君」を披露。その他、「眠駱駝物語」や、恒例の創作歌舞伎「伊達模様甘木賑」、小学生による「白浪五人男」「甘木娘晒舞」、など多彩な演目が披露されました。

上演中には、会場から掛け声があがり、観客たちは、抑揚のついた長ぜりふや迫力ある演技、美しい舞に魅了されました。

記念行軍





▲ゴール地点の育徳館中学校・高校の思永館(県指定有形文化財)前で記念撮影。参加者全員で目的地に到着しました。

特別展「秋月党挙兵 百五十年」開催記念講演会





▲(左)石瀧豊美さんによる基調講演。
(中・右)学生が活発な議論を展開しました。

歴史を振り返る機会に
秋月党挙兵 150 年関連イベント

今年は秋月党挙兵 150 年の節目の年を迎え、市内では歴史を振り返るさまざまなイベントが開催されました。10 月 24 日に秋月党の志士たちが進んだとされる道を歩く記念行軍を実施。秋月から育徳館中学校・高校（みやこ町）まで約 30km を歩き、歴史の舞台となった地域の風景に触れながら、当時の足跡をたどりました。参加者は「地域の歴史を身近に感じることができた」と話しました。

また、10 月 31 日にはフレアス甘木で講演会が開催されました。ディベートフォーラムでは、朝倉高校史学部と、甘木・十文字中学校の生徒が秋月党挙兵の是非について活発な議論を展開。多角的な視点から歴史を考える機会となりました。さまざまなイベントを通して、改めて郷土の歴史に触れ、その精神を未来へ受け継ぐ思いを深めました。

林流抱え大筒




▲10 月 18 日には朝倉市の無形文化財に指定されている「林流抱え大筒」が披露されました。

邪馬台国の起源に迫る歴史ロマン！
邪馬台国講演会

10 月 17 日、朝倉地域生涯学習センターで邪馬台国講演会が開催されました。講師の安本美典さんは日本古代史の研究に注力されており、朝倉市の親善大使を務めています。邪馬台国の所在地には複数の説がありますが、講演では朝倉地域との関連性に着目した研究成果や考察が紹介され、参加者は古代史への理解を深めました。また、安本さんは同日開かれた朝倉市表彰式で一般表彰を受賞しています。(関連 9P)



ちょっと参加、ちょっと体験、ちょっと出会う
朝倉つまみぐいマルシェ

10 月 17 日、甘木本通り商店街で「朝倉つまみぐいマルシェ」が開催されました。これは、各出店者の商品などをお試し価格で楽しめる体験型のマルシェ。" まちのスキマ " を活用した実験的なまちづくりを企画する「朝倉まちのスキマ部 1 期生」が主催するものです。当日は、さまざまなジャンルの 31 店舗が出店し、特設ステージでは歌やダンスなども披露。会場は多くの人でにぎわい、商品・サービスとの新たな出会いを楽しめる一日となりました。

「朝倉まちのスキマ部 2 期生」によるアイデア発表会も開催！





400 年の伝統を受け継ぐ
恵蘇八幡宮神幸祭

10 月 18 日、恵蘇八幡宮で神幸祭が行われました。神幸祭は約 400 年の歴史を持つ五穀豊穣を祈る祭りで、朝倉市の無形民俗文化財に登録されています。当日は、大福小学校と朝倉東小学校の 6 年生が筑紫舞・浦安の舞を奉納したほか、獅子舞が披露。その後、みこし行列が地域を巡り、祭りを盛り上げました。会場は多くの人でにぎわい、伝統ある秋の祭りを楽しむ人々の笑顔が見られました。




秋の夜を彩る灯り
美奈宜の杜 竹灯籠祭り

11 月 7 日、美奈宜の杜で竹灯籠祭りが行われました。これは美奈宜の杜 30 周年を記念したイベントで、竹灯籠は、美奈宜の杜の住民の皆さんによる手作り。約 1000 本の竹が使用されました。主催者の一人の須藤さんは「初めての試みだったが、多くの人に来てもらってよかった」と話しました。竹灯籠の幻想的な光に、訪れた人が写真を撮り合う様子が見られました。




あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。
第61弾は、朝倉診療所の石井さんを取材しました。



健診・検診で いつまでも元気な人生を

Interview

朝倉診療所 所長 **石井 邦英（くにひで）さん**

大川市出身。久留米大学医学部卒業後、同大学医学部付属高度救命救急センター、県立消化器医療センター朝倉病院、朝倉医師会病院などを経て、平成30年4月に朝倉診療所へ赴任。令和6年4月から同診療所の所長を務める。
肝臓病の名医として知られ、週刊誌で「地元にいる肝臓病の名医」に選出。

医師を目指したきっかけ

祖父と父から、小さいときから医者になることをすすめられたことが、医師を志したきっかけです。医学部6年生のときに、父が慢性肝疾患を発症。病名が発覚後、わずか2日後に亡くなりました。この経験から、肝臓病や感染症で苦しむ患者さんを助けたいという思いが強くなり、消化器内科や肝疾患を専門に学ぶようになりました。

病気ではなく人を診る

朝倉診療所には、当時勤務していた朝倉医師会病院でのご縁から赴任することに。ここでは、初代院長の林与吉郎（よきちろう）さんが掲げた「病人を出さないまちづくり」という理念のもと、予防医療や健診に力を入れています。
朝倉診療所は福岡県肝疾患専門医療機関に指定されており、C型肝炎やB型肝炎だけでなく、生活習慣病に起因する脂肪肝の検査や治療にも対応。年間2000人以上の健診を実施しているほか、インフルエンザワクチンは年間1000人以上の接種を目指しています。健診センターを併設し、院内調剤も行っているため、医師や看護師、薬剤師などが連携したチーム医療を実践できることが大きな特長。健診から治療、投薬まで一貫して患者さんと向き合うことができます。

また、肝疾患の患者さんを支える取り組みとして、フレイル※や認知症の予防を目的に、「こもらんクラブ」や「こもカフェ」を定期的に開催。患者さん同士が悩みや経験を共有できる交流の場となり、病気と向き合うための支えとなっています。
日々の業務は多忙ですが、「病気を治すのではなく、病気を抱えた人を治す」という考えを大切にし、一人ひとりに最適な治療方法を選択することを心掛けています。「石井先生に診てもらいたい」と前任の病院から通院先を朝倉診療所に変えてくださる患者さんも多くいます。大きな責任を感じるとともに、医師として地域の皆さんの役に立てていることにやりがいを感じています。

いつまでも元気でいるために

これからも、病気にならないための予防医療に力を注いでいきたいと考えています。特に、がんの早期発見や生活習慣病の進行抑制・適切な管理に取り組み、地域住民の健康寿命の延伸に貢献していきます。
健康を守るためには、日頃から自身の健康状態に関心を持つことが大切です。年に1回は健診を受け、各種がん検診についても、最低でも2年に1回は受診してください。健診やがん検診を通じて、いつまでも元気な生活を送っていただければと思います。

※フレイル…加齢によって心身の働きが弱くなり、健康な状態と要介護状態の中間にある状態のこと

朝倉市国民健康保険直営診療所（朝倉診療所）（古毛829）

昭和24年1月開所。地域に身近な医療機関として、70年以上地域の健康を支えています。開所以来、「病人を出さないまちづくり」を理念に掲げ、地域の健康を支えてきました。この理念を新しい診療所でも受け継ぎ、診療、健診、保健指導、健康づくりを一体的に提供することで、「治す医療」から「病気になる前から支える医療」へと、その役割を広げていきます。



▲（上）朝倉診療所の立ち上げに尽力した林与吉郎さん・禰己（げき）さんの功績をたたえた顕彰碑（下）旧朝倉診療所（昭和43年11月・田中富美男氏撮影）。

林与吉郎さんが生前に記した小冊子「長寿設計」から一部抜粋して紹介します。長生きするためのヒントが見つかるかもしれません。原本は朝倉診療所にあります。

長寿十訓

1. 人生は気魄（きはく）である
2. 死ぬまで現役である
3. 長寿は求めて得られるものではない
4. 使わぬところは駄目になる
5. 人生の達観
6. レクリエーションは心の垢（あか）落とし
7. 手当たり次第になんでもたべる
8. 八時間は寝床に
9. 一剣をみがく
10. 命を医者にあずける



■発行 朝倉市役所 人事秘書課 〒838-8601 福岡県朝倉市甘木232-1
☎(0946)22-1111 FAX(0946)22-1118 top@city.asakura.lg.jp